
ばいばい、

yuris

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ばいばい、

【Nコード】
N6413T

【作者名】
yuris

【あらすじ】
逃げて。さもないと、この殺意が暴走してしまう。

『ウザイ』『キモイ』

そんなこと、あんたに山の数ほど言われた。

やられた嫌がらせは数知れず。机に落書きされ、バケツいっぱいの水をかけられ、『死ぬ』と書いてある紙を投げつけられたこともある。

今まで黙って耐えて、親にも先生にも友達にも言わなかったけれど、もう限界が来てるの。

お願いだから、私の手の届かない所に逃げて。

ある日の放課後、教室で彼と2人きり。今までにないシチュエーション。

「うっわ最悪。お前早く部活行けよ」

「……あんたを待ってたの」

「なんだよそれ、キモイ」

ケタケタと気色悪い笑い方をする彼に、どれだけ苛つかされただろう。憎らしくて仕方なくて、私の中にどうしようもない殺意がむくむく芽生えて。

キモイのはあんたの方だよ、クズ。

「っていうかお前いつになったら転校すんの？　目障りだから消えてほしいんだけど」

「そうだね、明日になったらしてると思うよ」

「へえ？　それは良かった」

「正確には、せざるを得なくなってるんだけど」

「……は？」

「あんたも消えちゃうもの」

ざくり。やけに気持ちの良い音を出して、彼の腹から赤いものがどくどく流れ出した。

視界の端に映るのは目を見開いた彼。

思いつき引き抜くと、彼のそれをべっとり付けた刃が姿を現す。

「かは……っ」

「バカ。あんたって本当にバカ。こうなるなんて分かってたでしょう？ 予想できてたことでしょう？ それなのに逃げなかったあんたってバカだよ」

どさりと倒れた彼に先ほどの行為を繰り返す。刺しては抜き、刺しては抜きを何度も。

腹の中まで抉り出してやるくらい、今までの恨みを、殺意を晴らしてやるように。殺してやる、殺してやるって念を込めて刺し続ける。最速人間ではなくなった惨たらしい彼を何度も何度も。ざくり、ざくり、ざくり。

「死んじゃえ、死んじゃえ、死んじゃえ」

彼を刺す度に神経が昂る^{たかぶ}。彼の血を浴びる度にどきどきと心臓が激しくなる。彼を傷つける度に快楽を感じる。

なあんだ、私の怨念って、こんなことで済ませるものだったんだ。それなら何度だってこんなこと、続けてやる。

腹だけでなく、顔をぐちゃぐちゃにして、四肢を削ぎ落として、心臓を掴み出して、もはや動かないそれを握り潰してやる。

あんたが私に与えた傷より何倍も、何百倍も痛いこととしてやる。

そうして何分経ったのか分からない。

ただ床には彼の腕や足に頭、潰された心臓さえも転がっていた。

真っ赤。床も彼も私も、べっとりとした気持ち悪い血で染められていて。その場で何があったのかなんて嫌というほど分かってしまう。

「哀れだね。いい気味だ」

紡ぎ出される自身の言葉が酷く冷静で、まるで他人のようだと思った。

もう一度教室全体を見回す。

飛び散った血と肉の塊、教室中に蔓延^{はびこ}る鉄のような臭い、一際目立つのは真ん中に陣取る彼の惨い姿。

ばらばらにされ切り刻まれた体、抉られた腹、取り出された心臓、固まった表情。全てが彼に起こった惨劇を物語っている。誰かに殺されたことなど、一目瞭然だ。

だというのに私は口を歪め、笑った。

「さようなら」

元の形を失った心臓に持っていた包丁を突き刺し、私はその場を立ち去った。

(後書き)

うわーやっちゃったよ、駄作のグロいの出しちゃったよ。

私の学校にもいじめがあつて、いじめられてる子が可哀想でやっちゃいました。その子は引っ越してしまいました…。

とりあえずいじめは良くないと言いたかったんです！こんな駄作で
ごめんなさい！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6413t/>

ばいばい、

2011年10月8日20時52分発行